

第4回専門医資格認定試験の試験問題について

専門医制度委員会
委員長 青山 英康

平成8年8月31、9月1日に第4回専門医資格認定試験が実施されました。今後の制度改善と受験者の便に供するため、委員会は従来どおり、この試験で用いられた試験問題を公表することといたしました。試験方法は、昨年と同じです。以下に筆記試験、口頭試験の全問題文を掲載いたします。

1. 筆記試験

A問題. 8問のすべてについて簡潔に回答せよ。

1. 常時100人以上、300人未満の労働者を使用する事業場で総括衛生管理者を選任しなければならない業種を5つあげよ。
2. 所轄の労働基準監督署に提出する文書で、法的に産業医の捺印または署名が必要なものを5つ列記せよ。
3. わが国における業務上疾病の判定は誰がどのような根拠で行っているかを記せ。
4. 派遣労働者の健康診断の実施責任の所在について記せ。
5. 職場におけるメンタルヘルス・カウンセリングの留意点について記せ。
6. 職場の健康水準を示す指標を5つ列記せよ。
7. 労働による疲労の要因を列挙せよ。
8. 作業環境測定結果の保存期間が5年以上のものを5つ列挙せよ。

B問題. 5問中3問を選び回答せよ。

1. 労働者50人未満の中小企業における産業保健の課題について記せ。
2. 生物学的モニタリングの健康管理への有効利用について事業場における現状と問題点を記せ。

3. 深夜勤交代制勤務者と海外出張者に対する健康管理上の留意点をサーカディアンリズムから説明せよ。
4. VDT作業に従事する中高年労働者の視機能の特徴と対策について記せ。
5. 労働基準法が定めている妊産婦等の母性保護について記せ。

C問題. 以下の5問中2問を選び詳述せよ。

1. 産業医の守秘義務の根拠および範囲について論ぜよ。
2. わが国の職場におけるメンタルヘルス対策の年齢別特徴を述べよ。
3. パーソナルコンピュータ組立工場を想定して、職場巡視に用いるチェックリストを人間工学的観点から作成せよ。
4. 減圧症の発生しやすい職場、症状の特徴、予防対策について記せ。
5. 急進性じん肺症について記せ。

2. 口頭試験

口頭試験では、個々の知識と関連領域の知識との整合性や、知識の総合性、経験の程度、問題解決能力、総合的評価能力、企画力、対象の観察力、指導性、協調性等を見ることを目的とした。口頭試験では、4名を1組とする小グループ単位で、A-1、A-2、Bの3種類の試験が実施された。

〔A-1 試験〕

1. 産業医職務を5つに大別し、それぞれの職務について説明して下さい。ついで、貴方の産業医の職務の中で、主要なものについて具体的な例を挙げて説明して下さい。
2. 最近テレビの音量を大きくしすぎると家族から苦情をいわれている部品製造ラインの50歳の班長が健康管理室に相談にやってきました。どのような点から問診等を進めていきますか。
3. 労働衛生法規の体系について述べて下さい。

4. 有害物質の物性、危険有害性の情報の入手の仕方について述べて下さい。
5. 保護具について知るところを述べて下さい。
6. 事務所衛生基準規則について知るところを述べて下さい。
7. 深夜業務について、安全・衛生・健康配慮など産業医として配慮すべき問題について述べて下さい。
8. 労働者のうつ病の早期発見法について述べて下さい。
9. 作業者に対する労働衛生教育の種類を述べて下さい。
10. 中堅の製造業で高所作業者が高血圧症と思われるめまい、立ちくらみを訴える健診受診者が出た。この場合、嘱託産業医としてどのような対応を行いますか。
11. 事後措置の無い健康診断は、無意味だ！と言われて久しいですが、貴方は貴方が関係する事業場で具体的に、どのような事後措置を行い、どのような効果を期待し、今後どのように展開していく考えですか。
12. 健康診断結果の取り扱いと労働者のプライバシー保護について考えを述べて下さい。

[A－2 試験]

1. 平成7年2月1日付け基発38号通達で、脳・心臓疾患に係わる労災認定基準が改正された。その改正には現在の社会情勢を反映して、さまざまな点について検討された。改正されたポイントについて問題となる点を整理・検討し、さらに、過労死との関連について議論し、整理して下さい。
2. 飲酒習慣について、産業医として関与すべきか否かについての判断根拠、対策内容、期待される効果（客観性を含む）について述べて下さい。

[B 試験]

1. ある事業場では、定年後の生活設計のために熟年ライフセミナーを定年前の従業員を対象におこなってきた。この一環として「熟年ライフと健康」についての講

話を産業医に依頼してきた。この依頼に対して適切な講話内容を（1時間程度）まとめて下さい。

注：実際の発表時間は20分程度です。

2. この製造業では、複合不況といわれる厳しい経済的状況にあり、コストの削減を強くすすめている。問題点の整理、実施可能性、効果を考慮して、本企業において考えられる中長期的労働衛生施策を作成して下さい。

3. 貴方が所属している企業は海外にも工場進出しており、海外からも労働者の受入れを行っています。貴方は産業医として労働衛生上の課題を整理し、具体的な活動についてまとめて下さい。

4. 産業医をしている会社では、遠方の事業場については当該事業場の近くの開業医に健康診断を依頼している。血液検査の評価については、本社としての基準を示しているが、その医師は、自らの基準をとおして結果票を返送してくる。会社からは全体の集計を求められており、また、配置転換も頻繁にある。基準・評価が異なるので経年変化の把握も出来にくくなっている。どう解決したら良いか、様々な状況を想定してまとめて下さい。（なお、近くには、他に医院はない）